



通算第9回のSSH通信となります。今回は「地域課題を探究し解決策を提案する力」を身に付けることを目標とする学校設定科目「天草サイエンスI」(通称ASI)で行われた『天草学連続講義』と成果についてお知らせします。

第1回：天草の概要と企画戦略（天草市役所総合政策部 多間田誠様）

4/24日(火)実施。天草市の人口推移や6つの政策の柱を教えてください、移住者が昨年度110名もおられることなど、様々な話を頂きました。また、イルカセンターや図書館などの複合型施設が新たに建設されるといったホットな話題も教えてくださいました。



第2回：天草沿岸生態系の生物多様性（九州大学 新垣誠司様）

5/8日(火)実施。潮間帯に関する説明や、天草とインドネシアに生息する生物の種類の違いなど、専門的な知見と豊富な研究データをもとに教えてくださいました。実際に大学の授業で使われるスライド(言語は英語)であったこともあり、多くの生徒にとって刺激的な時間となりました。



第3回：天草の自然活用（DENSO 新事業開発部 小林孝幸様）

5/15(火)6限目に実施。カーボンニュートラルの考えに基づいたバイオ燃料抽出を教えてくださいました。これをトウモロコシではなく、藻を使って行われているのが特徴です。藻の中でも成長速度が速く、オイル含有量が多い種類を扱われており、このバイオディーゼルは2035年に実用化されるように研究が進んでいるそうです。



第4回：天草の水産業（天草市役所水産振興課 深川南帆様）

5/15(火)7限目に実施。天草で生産された魚が熊本県の約70%を占めていることや、多くの種類があることなどを教えてくださいました。また、若者の魚はなれや事業者の高齢化といった問題があることも教えてくださいました。天草市では、様々な課題に対する対応策も行われているそうです。



第5回：天草の農業（天草市役所農業振興課 山崎 剛様）

5/29(火)7限目に実施。九州と同じ面積であるオランダは、農業で多額の貿易黒字を誇っており、環境条件を整えるために科学の力を利用していることなどを教えてくださいました。天草市でも、同じような農業が行われている場所があるそうです。本校にもあるドローンを活用した事例も教えてくださいました。



第6回：天草の起業（Ama-bizセンター長 内山 隆様）

6/5(火)6限目に実施。天草のセラミック会社が技術力のPR方法を変化させ新たな顧客を獲得したことや、世界には9歳で起業し1000万円稼いだ人がいることなど、具体例を交えながらわかりやすくご講義いただきました。『今チャンスは都会ではなく、地方つまり天草が持っている』『天草は起業に失敗しても再度挑戦する豊かな環境がある』など、挑戦意欲あふれる講話でした。



第7回：熊本 - 天草幹線道路整備（天草広域本部土木部 喜津木郁人様）

6/5(火)7限目に実施。5/20に天城橋(新1号橋)が開通したのですが、この計画は熊本県の90分構想という政策が発端だそうです。また、一つの事業がどのような流れで形となるのかも教えてくださいました。天城橋の建設をまとめた動画や、天草上島と下島を結ぶ新しい橋(第2瀬戸橋)のシミュレーション動画などもあり、分かりやすく刺激的な時間となりました。「高校生には、この道路をどう活用するかを考えてほしい。」と宿題も頂きました。



第8回：天草と災害（熊本大学 松田博貴様）

6/12(火)に実施。天草は平地がほとんどなく海に囲まれていることや、白亜紀(9000万年前)の地層と古第三紀(5000万年前)の地層でできていることを教えてくださいました。また、干満差5mは日本一であることも改めて教えてくださいました。このような特徴を知り、災害が起こったら自分の身を守る準備を普段からしておくことが重要であることを学びました。少子高齢化が進む天草において、高校生がアクションを起こせば被害が最少となりえることなどを考えさせられました。

